

番 号
年 月 日

千葉県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進
計画の承認申請について

千葉県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成 25 年 5 月
28 日付け千葉県農業再生協議会作成）第 6 条第 1 項の規定に基づき、下記により事
業実施計画及び省エネルギー推進計画を作成したので、関係書類を添えて承認を申
請する。

記

- 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書：別紙 1
- 2 省エネルギー等対策推進計画：別紙 2

(別紙 1)

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

策定主体名：	実施期間	6 事業年度	6 年 7 月～7 年 6 月
--------	------	--------	-----------------

※事業年度は7月～翌6月。

施設園芸セーフティネット構築事業実施計画

対象期間	月 ～ 月	6事業年度	6年7月～7年6月
------	-------	-------	-----------

(セーフティネット申込者の内訳)

番号	氏名	燃料別	燃料購入 予定数量	燃料補填積立予定額 (円) ※	補助金所要見込額 (円)	備考
		A重油	ℓ			継続
		B軽油	ℓ			
		CLPガス	kg			
		DLNG	m ³			
合 計						

(注) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出（農家積立分）。

(注) 前事業年度から継続加入している申込者については、備考欄に「継続」と記入する。

(注) 「施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書」(必要に応じ)及び「施設園芸用燃料購入数量等設定申込書」を添付する。

(注) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

添付資料

- 1 組織の会則（規約）、役員名簿（農業協同組合(連合会)の場合は添付を省略できる）
- 2 事業参加者の一覧（下の様式を参考に作成）

＜事業参加者の一覧＞

番号	氏名	住所	セフティネット事業 申請(○×)	補助金所要 見込額(円)	備考
	別添管理シートのとおり				

※番号は事業参加者の通し番号とし、（セーフティネット申込者の内訳）の番号と連動させること。

(別紙2)

省エネルギー等対策推進計画

(品目名:)

計画期間	3年間 (R 事業年度～R 事業年度)
都道府県名	千葉県
市町村名	
計画策定主体名	
計画策定主体代表者氏名	
計画参画者数	
住所(主たる事務所)	
電話番号(主たる事務所)	
メールアドレス	

第1 産地における燃料使用量削減等の目標

1 施設園芸における省エネルギー等対策推進の考え方

--

(注) 当該産地における施設園芸の経営に関する現状と課題、省エネルギー等対策推進計画の実践を踏まえた今後の展開方向について記入する。

2 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	～	KL→ KL (○%)
		～	KL→ KL (○%)
		～	KG→ KG (○%)
		～	KG→ KG (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)
単位生産量当たり燃料使用量	15%	～	KL→ KL (○%)
		～	KG→ KG (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)

(注1) 1期計画、2期計画における目標削減率 15%を達成した場合に削減率を○で囲む。

(注2) 実績は A 重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃油現在使用量及び目標年の燃油使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現 在 ①	目 標②		
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換 算)	KL	KL	KL	%
LPガス	KG	KG	KG	%
LNG	m ³	m ³	m ³	%
合計(A 重油換算)	KL	KL	KL	%
10a 当たり	KL	KL	KL	%

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(1) 10a 当たりの燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

	年間(加温期間)生産量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現 在①	目 標②		
生産量 (品目名:)	t	t		
1t 当たりの 燃料使用量	KL	KL	KL	%
	KG	KG	KG	%
	m ³	m ³	m ³	%
合計(A 重油換算)	KL	KL	KL	%

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)生産量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を

目標する者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注4) 支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位3品目(又は作付け戸数で全体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載する。

(注5) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量: 現在 ①	年間(加温期間) 抑制量: 目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	%
LPガス	KG	KG	%
LNG	m ³	m ³	%

※該当しない場合、削除してください

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量及び抑制量欄は、第2の「(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

別添管理シートのとおり

【添付資料】現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる資料

(2)単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

[illegible]

【添付資料】燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
					事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
合計		ha	L	L	(参考)		

※該当しない場合、削除してください

- (注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。
- (注2) 変動抑制取組計画については、支援対象者が一体的に取り組む場合は、合計欄にのみ記載。
計画参画者が個別に取り組む場合は、個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。
- (注3) 燃油コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇KL売り渡せることが可能な量)。
- (注4) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。
- (注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。
- (注6) 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

別紙様式第1号（第6条第1項関係）

文書番号（契約番号ではない）。ない場合は行を削除

〇〇第〇〇号
令和6年〇月〇日

千葉県農業再生協議会会長 殿

令和6年7月22日までの日付。様式5、7号と揃える。

役員名簿、管理シート、他の様式と一致させること

（農業者組織）

〇〇市〇〇〇〇〇〇—〇〇
〇〇〇〇〇〇〇組合
組合長 〇〇 〇〇

押印は不要

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進計画の（変更）承認申請について

千葉県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月28日付け千葉県農業再生協議会作成）第6条第1項の規定に基づき、下記により事業実施計画及び省エネルギー推進計画を作成したので、関係書類を添えて承認を申請する。

記

- 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書：別紙1
- 2 省エネルギー等対策推進計画：別紙2

(別紙1)

10月～翌6月までから選択。セーフティネット構築事業の対象となる期間（対象期間外の月は同事業の対象となりません）。

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

策定主体名： 〇〇〇〇〇〇〇組合	実施期間	6事業年度	6年7月～7年6月
---------------------	------	-------	-----------

※事業年度は7月～翌6月。

施設園芸セーフティネット構築事業実施計画

対象期間	10月～翌4月	6事業年度	6年7月～7年6月
------	---------	-------	-----------

(セーフティネット申込者の内訳)

番号	氏名	燃料別	燃料購入 予定数量	燃料補填積立予定額 (円)※	補助金所要見込額 (円)	備考
		A重油	0			継続
別添管理シートのとおり						
合 計		LPガス	kg			
		LNG	m ³			

(注) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出（農家積立分）。

(注) 前事業年度から継続加入している申込者については、備考欄に「継続」と記入する。

(注) 「施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書」（必要に応じ）及び「施設園芸用燃料購入数量等設定申込書」を添付する。

(注) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

管理シートを作成することで省略可

添付資料

- 1 組織の会則（規約）、役員名簿（農業協同組合(連合会)の場合は添付を省略できる）
- 2 事業参加者の一覧（下の様式を参考に作成）

<事業参加者の一覧>

番号	氏名	住所	セーフティネット事業 申請(○×)	補助金所要 見込額(円)	備考

別添管理シートのとおり

※番号は事業参加者の通し番号とし、（セーフティネット申込者の内訳）の番号と連動させること。

省エネルギー等対策推進計画

(品目名: トマト、きゅうり)

全ての品目を記入

対象の3年度を記入

計画期間	3年間 (R○事業年度～R○事業年度)
都道府県名	千葉県
市町村名	〇〇市
計画策定主体名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇組合
計画策定主体代表者氏名	組合長 〇〇 〇〇
計画参画者数	〇〇名
住所(主たる事務所)	〇〇市〇〇〇〇〇-〇〇
電話番号(主たる事務所)	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	〇〇〇〇〇〇@〇〇.〇〇.jp

電子ファイルの送受信が可能なメールアドレスを記入

◆記入したアドレス宛に県協議会から各種通知、連絡事項等を送信します。

第1 産地における燃料使用量削減等の目標

1 施設園芸における省エネルギー等対策推進の目標

次期に取り組む団体のうち、前期に燃料15%削減を達成できなかった団体は、達成できなかった理由等を明記・分析し、次年度の取組に活かす内容とすること。

【例1】本産地では、現在、促成トマト及び半促成きゅうりの栽培に取り組んでおり、冬季は加温、春先と秋口は灰色かび病等の病害予防のための温度低減に重油暖房機が不可欠な状況である。そのような中で、暖房機の燃料であるA重油の価格が昨今の原油市況の中で大幅に上昇し、経費全体に占める燃料費の割合が大きくなっている。

そこで、ヒートポンプ等を導入し、既存の重油暖房機とのハイブリッド制御運転を行うことで燃料使用量の削減を図り、併せて『施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート』を活用した省エネ生産管理を実践することによって、経営の安定と生産物の安定供給ができるようにする。

【例2(1期終了し、次期に取り組む計画の例)】(前段は省略)

昨年度は、～のような状況にあったことから11、12、3月における燃料の使用量が増加し、15%の削減を達成できなかった。今年度は、保温カーテンの活用やハウスの補修を行い、保温効果を高めるとともに、バーナーメンテナンスを実施して燃焼状態を良好に保ち、ヒートポンプなども活用して加温効率を高め、使用量削減に努めるほか、「施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート」の項目の自己チェックを行い、日々の管理業務を徹底して行うことで燃油使用量のさらなる削減に努める。

(注)当該産地における施設園芸の経営に関する現状と課題、今後の展望

達成していれば丸で囲む

(過去に取り組んだ実績がある場合は記入。新規加入、期内の途中年度の団体は記入不要)

- ・第1期最終年の実施状況報告書から転記
- ・R6の現在使用量と合わせる

2 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績	
10a 当たり燃料使用量	15%	R3～5	300,000KL→229,878KL (23%)	第1期
		～	KL→ KL (○%)	第2期
		～	KG→ KG (○%)	
		～	KG→ KG (○%)	
		～	m ³ → m ³ (○%)	
		～	m ³ → m ³ (○%)	
単位生産量当たり燃料使用量	15%	～	KL→ KL (○%)	
		～	KG→ KG (○%)	
		～	m ³ → m ³ (○%)	

(注1)1期計画、2期計画における目標削減率15%を達成した場合に削減率を○で囲む。

(注2)実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃油現在使用量及び目標年の燃油使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

管理シート下段の★の表から転記する

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現 在 ①	目 標②		
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換 算)	256 KL	193 KL	62 KL	24 %
LPガス	5 KG	4 KG	2 KG	30 %
LNG	0 m³	0 m³	0 m³	%
合計(A 重油換算)	262 KL	198 KL	64 KL	25 %
10a 当たり	5 KL	4 KL	1 KL	25 %

(四捨五入前の達成率が 14.5～14.9%の場合は、四捨五入して 15%となりますが 15%の達成とはみなされません。15%を超える達成となるよう目標値を設定してください。

(【2期目以降の場合】

(第1期現在値と比較して計 30%削減を達成していない場合は、現在値を据え置いたうえで、単期で 15%、第1期現在値と比較して計 30%削減を目標とする必要があります。

※L 単位での数値をもと計算にしているため、計は一致しません。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

	年間(加温期間)生産量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現 在①	目 標②		
生産量 (品目名:)	t	t		
1t 当たりの 燃料使用量	KL	KL	KL	%
	KG	KG	KG	%
	m³	m³	m³	%
合計(A 重油換算)	KL	KL	KL	%

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)生産量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を

目標する者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注4) 支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位3品目(又は作付け戸数で全体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載する。

(注5) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量: 現在 ①	年間(加温期間) 抑制量: 目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	%
LPガス	KG	KG	%
LNG	m ³	m ³	%

※該当しない場合、削除してください

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量及び抑制量欄は、第2の「(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

別添管理シートのとおり

【添付資料】現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる資料

(2)単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
			現在	目標	現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(L/t)	(L/t)			
							台	台	台
							a	a	a
							(参考)		
		a	L	L	(L/t)	(L/t)			
							台	台	台
							a	a	a
							(参考)		
		a	L	L	(L/t)	(L/t)			
							台	台	台
							a	a	a
							(参考)		
		a	L	L	(L/t)	(L/t)			
							台	台	台
							a	a	a
							(参考)		
		a	L	L	(L/t)	(L/t)			
							台	台	台
							a	a	a
							(参考)		
合計		a	L	L	(L/t)	(L/t)			
							台	台	台
							a	a	a
							(参考)		

【添付資料】燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
					事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
合計		ha	L	L	(参考)		

※該当しない場合、削除してください

- (注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。
- (注2) 変動抑制取組計画については、支援対象者が一体的に取り組む場合は、合計欄にのみ記載。
計画参画者が個別に取り組む場合は、個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。
- (注3) 燃油コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇KL売り渡せることが可能な量)。
- (注4) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。
- (注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。
- (注6) 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

省エネルギー等対策取組計画（令和6事業年度）

住 所：

氏 名

1. 燃料使用量削減等の取組目標（いずれか一つの目標に○印を記載（※1））

- (1) 10a当たり燃料使用量を削減する目標

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標
-

2. 経営状況及び取組目標値

●経営する温室加温面積（品目：）

0 a

内訳

燃料別	A重油	灯油	L P ガス	L N G
加温面積	0 a	0 a	0 a	0 a

※全事業参加者必須

※経営する温室加温面積は、加温機を使用している温室面積を記載

※内訳の燃料別の加温面積は、1棟の温室で違う燃料の加温機を併用している場合は、温室面積をそれぞれの燃料に記載（重複記載となるので、内訳合計面積は経営する温室面積とは一致しない場合がある）

●上記温室における年間燃料使用量（現在使用量）（※2）

燃料種別	年間使用量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
A重油	0.0ℓ	0ℓ	①の数量
灯油	0.0ℓ	0ℓ	①に0.939を乗じる
L P ガス	0.0kg	0ℓ	①に1.299を乗じる
L N G	0.0m³	0ℓ	①に1.560を乗じる
合 計		0ℓ	

※全事業参加者必須。燃料使用量は温室の加温に用いている燃料を種類別にすべて記載

A重油、灯油は「ℓ」、L P ガスは「kg」、L N Gは「m³」単位で記載

※年間使用量①は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間燃料使用量（目標使用量）（※3、※4）

燃料種別	目標使用量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
A重油	0.0ℓ	0ℓ	①の数量
灯油	0.0ℓ	0ℓ	①に0.939を乗じる
L P ガス	0.0kg	0ℓ	①に1.299を乗じる
L N G	0.0m ³	0ℓ	①に1.560を乗じる
合 計		0ℓ	

※取組目標1. (1) 及び1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※目標使用量①は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間生産量（現在生産量）（※5）

	年間(加温期間)生産量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
現在生産量	0.0 t		
1 t 当たりの燃料使用量	A重油	0.0ℓ	0ℓ ①の数量
	灯油	0.0ℓ	0ℓ ①に0.939を乗じる
	L P ガス	0.0kg	0ℓ ①に1.299を乗じる
	L N G	0.0m ³	0ℓ ①に1.560を乗じる
合 計		0ℓ	

※取組目標1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※1 t 当たりの燃料使用量は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

※該当しない場合、削除してください

●上記温室における年間生産量（目標生産量）（※4）

	年間(加温期間)生産量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
目標生産量	0.0 t		
1 t 当たりの燃料使用量	A重油	0.0ℓ	0ℓ ①の数量
	灯油	0.0ℓ	0ℓ ①に0.939を乗じる
	L P ガス	0.0kg	0ℓ ①に1.299を乗じる
	L N G	0.0m ³	0ℓ ①に1.560を乗じる
合 計		0ℓ	

※取組目標1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※ 1 t 当たりの燃料使用量は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第 1 位を四捨五入する。

●経営における燃料コストの変動抑制量（目標抑制量）（※4）



※取組目標1. (3)に○印を記載した事業参加者のみ記載。
ただし、支援対象者が一体的に取り組む場合は、記載不要。

3. 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績	
10a当たり燃料使用量	15%	～	KL→	KL（○%）
		～	KL→	KL（○%）
			KL→	KL（○%）
			KL→	KL（○%）
			KL→	KL（○%）
			KL→	KL（○%）
単位生産量当たり燃料使用量	15%	～	KL→	KL（○%）
			KL→	KL（○%）
			KL→	KL（○%）

（注1）1期計画、2期計画における目標削減率15%を達成した場合に削減率を○で囲む。

（注2）実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

4. 目標達成の取組手段（○印を記載した目標に対して記載）

(1) 10a当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合



➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		省エネ設備導入計画		
		ヒートポンプ導入状況		その他の設備
現在	目標	導入済	導入予定	導入予定
		事業年度	事業年度	事業年度
		電気 ガス	電気 ガス	
0ℓ	0ℓ	0台	0台	0台
0ℓ	0ℓ	0 a	0 a	0 a
0kg	0kg	(参考)		
0m ³	0m ³			

（注）ヒートポンプ導入状況の欄は、既に導入済の場合は導入年度、台数及び設置している温室の面積を、今後導入を予定している場合は導入予定年度、台数及び設置予定の温室面積を記載。

（注）その他の設備の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

（注）省エネ設備の定義については、本対策で平成27事業年度まで実施していた「施設園芸省エネ設備リース導入支援事業」で定義していた設備（循環扇、被覆資材 等）とする。

（注）施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート及び省エネ設備導入以外の手段で燃料使用量の削減に取り組む場合は、（参考）欄に具体的な取組手段（例として、低温適応性品種への転換や燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入 等）を記載する。

（２）単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
				ヒートポンプ導入状況		その他の設備
				導入済	導入予定	導入予定
現在	目標	現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
		0.0 t	0.0 t	電気 ガス	電気 ガス	
				0台	0台	0台
0ℓ	0ℓ	0.0ℓ	0.0ℓ	0 a	0 a	0 a
0kg	0kg	0.0kg	0.0kg	(参考)		
0m³	0m³	0.0m³	0.0m³			

（注）ヒートポンプ導入状況の欄は、既に導入済の場合は導入年度、台数及び設置している温室の面積を、今後導入を予定している場合は導入予定年度、台数及び設置予定の温室面積を記載。

（注）その他の設備の欄は、省エネ設備・生産性向上設備（炭酸ガス発生装置、環境制御盤 等）を上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

（注）重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

（注）生産性向上設備の導入以外の手段で生産量の向上に取り組む場合は、（参考）欄に具体的な取組手段（例として、多収性品種への転換や栽培技術の改善 等）を記載する

（注）省エネ設備・生産性向上設備導入計画のうち省エネ設備に係る記載については、3.（１）の（注）に準ずるものとする。

（３）民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料燃料コストの変動を抑制する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量	燃料	変動抑制取組計画		
		※該当しない場合、削除してください		
		事業年度	事業年度	事業年度
		0ℓ	0ℓ	
0kg	0kg	(参考)		
0m³	0m³			

（注）支援対象者が一体的に取り組む場合（例えば、支援対象者としてA重油備蓄タンクを整備している場合 等）は、燃料コストの変動抑制量（目標）及び変動抑制取組計画の記載は不要とする。

（注）変動抑制取組計画の（参考）欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料コストの変動を抑制するのかが分かるよう記載する。

5. 施設園芸セーフティネット構築事業への加入

- 施設園芸セーフティネット構築事業:○事業年度（該当箇所に○印を記入）

☐

➤ 申請(更新)する

☐

➤ 申請(更新)しない

- 施設園芸セーフティネットの積立方式（いずれかを選択し○印を記入）

対象燃料	積立方式	積立単価①	選択
A重油	115%積立	13.3 円/ℓ	
	130%積立	26.7 円/ℓ	
	150%積立	44.5 円/ℓ	
	170%積立	62.2 円/ℓ	
灯油	115%積立	14.1 円/ℓ	
	130%積立	28.3 円/ℓ	
	150%積立	47.1 円/ℓ	
	170%積立	65.9 円/ℓ	
L P ガス	115%積立	17.3 円/kg	
	130%積立	34.7 円/kg	
	150%積立	57.8 円/kg	
	170%積立	80.9 円/kg	
L N G	115%積立	8.7 円/m ³	
	130%積立	17.5 円/m ³	
	150%積立	29.1 円/m ³	
	170%積立	40.7 円/m ³	

- 施設園芸セーフティネットの対象となる燃料購入予定数量(㊦)

6 事業年度 対象期間（6 年 月～7 年 月分）	計②
A重油	
灯油	
L P ガス	
L N G	

※施設園芸セーフティネットの対象となる燃料購入予定数量は、A重油の換算は行わずに記入する。

- 積立予定額（積立単価①×燃料購入予定数量②×1/2）100円単位で切捨て

燃料種別	積立方式	積立単価	積立金額
A重油			
灯油			
L P ガス			

L N G			
合計			0円

● 積立金の分割納付について: 必須(該当箇所には○印を記入必須)

☐

➤ 分割納付する

☐

➤ 分割納付しない

<記入上の注意>

(※1) 同一支援対象者に属する事業参加者の取組目標は統一すること。

省エネルギー推進計画(旧名称)を最初に策定してから、3年を経過していない支援対象者及び新規の支援対象者に属する事業参加者は、1.(1)を取組目標とすること。

(※2) 過去の加温年度における燃料使用量の7中5平均値(過去7年間の燃料使用量のうち最大使用量1年分と最小使用量1年分を除いた5年の平均燃料使用量)とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な燃料使用量(品目別)が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

なお、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省エネルギー等対策推進計画の現在使用量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、省エネルギー推進計画(旧名称)における現在使用量に0.85を乗じた使用量を省エネルギー等対策推進計画における現在使用量とすることができるものとする。

(※3) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、全事業参加者が必須で実践し、10%の削減割合を現在使用量に乗じた量を削減見込量として、現在使用量から削減見込量を差し引いた量を目標量として設定することができるものとする。

ただし、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者が、引き続き、10a当たり燃料使用量の削減を取組目標とした場合は、既に実践済みのため、現在使用量に10%の削減割合を見込むことは出来ないものとする。併せて、同取組目標において、事業参加者の削減率(実績値)が10%未満の場合は、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践を徹底し、省エネルギー等対策推進計画における目標値に未達分を反映させることとする。

なお、いずれの取組目標においても、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは必須の取組とし、施設園芸の省エネルギー化に務めるものとする。

(※4) 3. 目標達成の取組手段」における省エネ設備導入計画、省エネ設備・生産性向上設備導入計画、変動抑制取組計画を踏まえて記載し、その算定方法が確認できる書類を添付すること。

(※5) 過去の加温年度における生産量の7中5平均値とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な生産量が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

(※6) 積立金の分割納付の有無は事業参加者が選択する。納付は2回に分割し、第1回目の納付割合は全体額の2分の1以上(前年度繰越額を含む)とし、納付額及び納付期限については、積立契約が成立した際にあらためて支援対象者から通知する。

事業年度が R4～6、R5～7（当期中）の団体については、
変更がない場合、1.～4.は変更不要（ただし、新設部分
は追記すること）

※いずれの項目も管理シ
ートの値と一致させること

加温施設第2号（第1号第2項関係）

省エネルギー等対策取組計画（令和6事業年度）

住 所： ○○市○○○—○○ 氏 名 ○○ ○○

事業を過去3年以上実施した団体：(1)～(3)
それ以外の団体：(1)のみ

1. 燃料使用量削減等の取組目標（いずれか一つの目標に○印を記載（※1））

- (1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標
- (2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標
- (3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

○

経営するすべての加温施設の面積を記入

2. 経営状況及び取組目標値

●経営する温室加温面積（品目： トマト ）

55 a

内訳

燃料別	A重油	灯油	L Pガス	L N G
加温面積	50 a	20 a	10 a	a

<今回新設部分あり> 目標年度時点にお
ける燃料種ごとの施設面積を記入（重複
可）。

※全事業参加者必須

※経営する温室加温面積は、加温機を使用している温室面積を記載

※内訳の燃料別の加温面積は、1棟の温室で違う燃料の加温機を併用している場合は、

温室面積をそれぞれの燃料に記載（重複記載となるので、内訳合計面積は経営する温室面積とは一致しない）

●上記温室における年間燃料使用量（現在使用量）（※2）

燃料種別	年間使用量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
A重油	10,000ℓ	10,000ℓ	① の数量
灯油	2,000ℓ	1,878ℓ	① に 0.939 を乗じる
L P ガス	1,000Kg	1,299ℓ	① に 1.299 を乗じる
L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計		13,177ℓ	

※全事業参加者必須。燃料使用量は温室の加温に用いている燃料を種類別にすべて記載

A重油、灯油は「ℓ」、L P ガスは「kg」、L N Gは「m³」単位で記載

※年間使用量①は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入。

●上記温室における年間燃料使用量（目標使用量）（※3、※4）

燃料種別	目標使用量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
A重油	8,000ℓ	8,000ℓ	① の数量
灯油	1,500ℓ	1,409ℓ	① に 0.939 を乗じる

<今回新設部分あり>

①燃料種ごとの過去7年中5年の平均年間使用量（7月から翌6月の1年間分。ない場合は、近傍類似データ、地域平均・公的データ等を用いる）を記入し、右列の説明に従い、②A重油換算使用量を記入する（それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入）。

【新規参加団体】

・現在燃料使用量の証拠書類（「燃料購入伝票の写し」又は「購入元が証明した書類」）

【次期に取り組む団体】

・現在燃料使用量の必要書類

①現在燃料使用量計算書等（※計算方法等を記載し、削減率の算定方法がわかるもの）

②証拠書類（「燃料購入伝票の写し」又は「購入元が証明した書類」）

※過去の実施状況報告書の写し（証拠書類含む）等で代えることができます。

【当期中の団体（新規生産者追加・変更あり）】

・R6 から新規で取り組む農家は過去7年中5年の平均燃料使用量を記入し、算出根拠を添付すること。

・昨年度から変更がある場合は、変更箇所を2段書きにする。例>(1200)←上段：変更前(R5計画)を括弧書き

1000 ←下段：変更後(R6計画)

<今回新設部分あり>

【新規参加・次期に取り組む団体】

・記入方法は現在使用量と同じ。

・目標燃料使用量の必要書類

①現在燃料使用量計算書（別紙）

②メーカーカタログ等

【当期中の団体（新規生産者追加・変更あり）】

（現在使用量と同じ）

L P ガス	800Kg	1,039ℓ	① に 1.299 を乗じる
L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計		10,448ℓ	

※取組目標 1. (1) 及び 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※目標使用量①は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間生産量（現在生産量）（※5）

	年間(加温期間)生産量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
現在生産量	t		
1 t 当りの 燃料使用 量	A重油	ℓ	① の数量
	灯油	ℓ	① に 0.939 を乗じる
	L P ガス	Kg	① に 1.299 を乗じる
	L N G	m ³	① に 1.560 を乗じる
合 計		ℓ	

※該当しない場合、削除してください

※取組目標 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※1 t 当りの燃料使用量は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間生産量（目標生産量）（※4）

	年間(加温期間)生産量①		A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
目標生産量	t			
1 t 当りの 燃料使用 量	A 重油	ℓ	ℓ	① の数量
	灯油	ℓ	ℓ	① に 0.939 を乗じる
	L P ガス	Kg	ℓ	① に 1.299 を乗じる
	L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計			ℓ	

※取組目標 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※1 t 当りの燃料使用量は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●経営における燃料コストの変動抑制量（目標抑制量）（※4）

※取組目標 1. (3) に○印を記載し
ただし、支援対象者が一体的に

達成していれば丸で囲む

（過去に取組んだ実績がある場合は記入。新規加入、期内の途中年度の団体は記入不要）

- ・第1期最終年の実施状況報告書から転記
- ・R6の現在使用量と合わせる

3. 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	R3～5	17KL→13KL (22%)
		～	KL→ KL (○%)

第1期

第2期

			KG→ KG (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
単位生産量当たり燃料使用量	15%	～	KL→ KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

(注1) 1期計画、2期計画における目標削減率15%を達成した場合に削減率を○で囲む。

(注2) 実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、削減率として記載。

必ず○を記入

4. 目標達成の取組手段 (○印を記載した目標に対して記載)

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合



➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		省エネ設備導入計画		
		ヒートポンプ導入状況		その他の設備
現在	目標	導入済	導入予定	導入予定

2.の現在使用量、目標使用量と同じ数値
(※灯油がある場合は L を2段書きにする)

※導入予定の年度であることに注意

		R6事業年度	R7事業年度	R7事業年度
		電気 ガス	電気 ガス	被覆資材
10,000L	8,000L	1台	2台	2棟
2,000L	1,500L	10a	10a	20a
1,000Kg m ³	800Kg m ³	(参考)例>・低温適応性品種への転換 ・燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入 ・管理の徹底(バーナーメンテナンスの実施) 等		

・ヒートポンプを導入済み又は導入予定の場合は、種類(電気・ガスのいずれかを○で囲む)、台数、設置温室の面積を記入。
・他の取組(循環扇、被覆資材等)についても対象温室面積を記入する。

・機械施設以外の取組については、(参考)の欄に具体的に御記入ください。

(注) ヒートポンプ導入状況の欄は、電気・ガスのいずれかを○で囲み、既に導入済の場合は導入年度、台数及び設置している温室の面積を記入。今後導入を予定している場合は導入予定年度、台数及び設置予定の温室面積を記載。

なお、両方を使用している場合は、欄を追加して電気・ガスごとに別々に記載する。

(注) その他の設備の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注) 省エネ設備の定義については、本対策で平成27事業年度まで実施していた「施設園芸省エネ設備リース導入支援事業」で定義していた設備(循環扇、被覆資材等)とする。

(注) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート及び省エネ設備導入以外の手段で燃料使用量の削減に取り組む場合は、

(参考) 欄に具体的な取組手段(例として、低温適応性品種への転換や燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入等)を記載する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		※該当しない場合、削除してください		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
				ヒートポンプ導入状況		その他の設備
現在	目標	現在	目標	導入済	導入予定	導入予定

				事業年度	事業年度	事業年度
				電気 ガス	電気 ガス	
L Kg ㎡	L Kg ㎡	t (L,kg,m³/ t)	t (L,kg,m³/t)	台	台	台
				a	a	a
				(参考)		

(注) ヒートポンプ導入状況の欄は、電気・ガスのいずれかを○で囲み、既に導入済の場合は導入年度、台数及び設置している温室の面積を、今後導入を予定している場合は導入予定年度、台数及び設置予定の温室面積を記載。

なお、両方を使用している場合は、欄を追加して電気・ガスごとに別々に記載する。

(注) その他の設備の欄は、省エネ設備・生産性向上設備（炭酸ガス発生装置、環境制御盤 等）を上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注) 生産性向上設備の導入以外の手段で生産量の向上に取り組む場合は、(参考)欄に具体的な取組手段（例として、多収性品種への転換や栽培技術の改善 等）を記載する

(注) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画のうち省エネ設備に係る記載については、3. (1) の(注)に準ずるものとする。

※該当しない場合、削除してください

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料燃料コストの変動を抑制する目標に取り組む場合



➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
		事業年度	事業年度	事業年度
L Kg	L Kg	(参考)		

m ³	m ³
----------------	----------------

(注) 支援対象者が一体的に取り組む場合(例えば、支援対象者としてA重油備蓄タンクを整備している場合等)は、燃料コストの変動抑制量(目標)及び変動抑制取組計画の記載は不要とする。

(注) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料コストの変動を抑制するのかが分かるよう記載する。

5. 施設園芸セーフティネット構築事業への加入

● 施設園芸セーフティネット構築事業:○事業年度(該当箇所に○印を記入)

☐

➤ 申請(更新)する

☐

➤ 申請(更新)しない

セーフティネット事業に加入しない場合でも、目標年までは省エネルギーに取組み、毎年実施状況を報告する必要があります。
(年度内の燃料購入伝票の写し等は保管してください)

● 施設園芸セーフティネットの積立方式(いずれかを選択し○印を記入)

対象燃料	積立方式	積立単価①	選択
A重油	115%積立	13.3 円/ℓ	
	130%積立	26.7 円/ℓ	
	150%積立	44.5 円/ℓ	☐
	170%積立	62.2 円/ℓ	
灯油	115%積立	14.1 円/ℓ	
	130%積立	28.3 円/ℓ	
	150%積立	47.1 円/ℓ	

希望する燃料種のコースを選択する
(※昨年から積立単価が変わっているのでご注意ください)

	170%積立	65.9 円/ℓ	○
L P ガス	115%積立	17.3 円/kg	
	130%積立	34.7 円/kg	
	150%積立	57.8 円/kg	○
	170%積立	80.9 円/kg	
L N G	115%積立	8.7 円/m ³	
	130%積立	17.5 円/m ³	
	150%積立	29.1 円/m ³	
	170%積立	40.7 円/m ³	

対象期間は支援対象者（団体）内の構成員も同じ期間

● 施設園芸セーフティネットの対象となる燃料購入予定数量(㊦)

6 事業年度 対象期間（6 年 1 0 月～7 年 4 月分）	計②	
A 重油	10,000	L
灯油	1,000	L
L P ガス	500	Kg

・ 対象期間（例では令和 6 年 10 月～令和 7 4 月の 7 か月間）の購入予定数量を記入。※年間の購入数量でないことに注意してください。

・ 過去の施設園芸用燃料の使用量等を参考に、実際に購入予定の数量を記入（原則、現在燃料使用量以下。過去の実績より購入数量を増やす場合は、現在燃料使用量の 120%以内とし、理由を説明できるようにしておくこと）。

L N G	m ³
-------	----------------

※施設園芸セーフティネットの対象となる燃料購入予定数量は、A重油の換算は行わずに記入する。

● 積立予定額（積立単価①×燃料購入予定数量②×1/2）100 円単位で切捨て

燃料種別	積立方式	積立単価	積立金額
A 重油	150%積立	44.5	222,500 円
灯油	170%積立	65.9	32,900 円
L P ガス	150%積立	57.8	14,400 円
L N G			円
合計			269,800 円

管理シートと一致することを確認する

● 積立金の分割納付について:必須(該当箇所○印を記入必須)

☐

➤ 分割納付する

☐

➤ 分割納付しない

いずれかを選択し、該当箇所に○を記入

<記入上の注意>

(※1) 同一支援対象者に属する事業参加者の取組目標は統一すること。

省エネルギー推進計画(旧名称)を最初に策定してから、3年を経過していない支援対象者及び新規の支援対象者に属する事業参加者は、1.(1)を取組目標とする

こと。

(※2) 過去の加温年度における燃料使用量の7中5平均値(過去7年間の燃料使用量のうち最大使用量1年分と最小使用量1年分を除いた5年の平均燃料使用量)とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な燃料使用量(品目別)が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

なお、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省エネルギー等対策推進計画の現在使用量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、省エネルギー推進計画(旧名称)における現在使用量に0.85を乗じた使用量を省エネルギー等対策推進計画における現在使用量とすることができるものとする。

(※3) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、全事業参加者が必須で実践し、10%の削減割合を現在使用量に乗じた量を削減見込量として、現在使用量から削減見込量を差し引いた量を目標量として設定することができるものとする。

ただし、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者が、引き続き、10a 当たり燃料使用量の削減を取組目標とした場合は、既に実践済みのため、現在使用量に10%の削減割合を見込むことは出来ないものとする。併せて、同取組目標において、事業参加者の削減率(実績値)が10%未満の場合は、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践を徹底し、省エネルギー等対策推進計画における目標値に未達分を反映させることとする。

なお、いずれの取組目標においても、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは必須の取組とし、施設園芸の省エネルギー化に務めるものとする。

(※4) 3. 目標達成の取組手段」における省エネ設備導入計画、省エネ設備・生産性向上設備導入計画、変動抑制取組計画を踏まえて記載し、その算定方法が確認できる書類を添付すること。

(※5) 過去の加温年度における生産量の7中5平均値とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な生産量が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

(※6) 積立金の分割納付の有無は事業参加者が選択する。納付は2回に分割し、第1回目の納付割合は全体額の2分の1以上(前年度繰越額を含む)とし、納付額及び納付期限については、積立契約が成立した際にあらためて支援対象者から通知する。

省エネルギー等対策取組計画（令和6事業年度）

住 所：氏 名

1. 燃料使用量削減等の取組目標（いずれか一つの目標に○印を記載（※1））

（1）10a 当たり燃料使用量を削減する目標

（2）単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

（3）民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

2. 経営状況及び取組目標値

●経営する温室加温面積（品目：）

a

内訳

燃料別	A重油	灯油	L P ガス	L N G
加温面積	a	a	a	a

※全事業参加者必須

※経営する温室加温面積は、加温機を使用している温室面積を記載

※内訳の燃料別の加温面積は、1棟の温室で違う燃料の加温機を併用している場合は、温室面積をそれぞれの燃料に記載（重複記載となるので、内訳合計面積は経営する温室面積とは一致しない場合がある）

●上記温室における年間燃料使用量（現在使用量）（※2）

燃料種別	年間使用量①	A重油換算使用量②	（A重油換算係数）
A重油	ℓ	ℓ	① の数量
灯油	ℓ	ℓ	① に 0.939 を乗じる
L P ガス	Kg	ℓ	① に 1.299 を乗じる
L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計		ℓ	

※全事業参加者必須。燃料使用量は温室の加温に用いている燃料を種類別にすべて記載

A重油、灯油は「ℓ」、L P ガスは「kg」、L N Gは「m³」単位で記載

※年間使用量①は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間燃料使用量（目標使用量）（※3、※4）

燃料種別	目標使用量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
A重油	ℓ	ℓ	① の数量
灯油	ℓ	ℓ	① に 0.939 を乗じる
L P ガス	Kg	ℓ	① に 1.299 を乗じる
L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計		ℓ	

※取組目標 1. (1) 及び 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※目標使用量①は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間生産量（現在生産量）（※5）

	年間(加温期間)生産量①		A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
現在生産量	t			
1 t 当たりの 燃料使用 量	A重油	ℓ	ℓ	① の数量
	灯油	ℓ	ℓ	① に 0.939 を乗じる
	L P ガス	Kg	ℓ	① に 1.299 を乗じる
	L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計			ℓ	

※取組目標 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※1 t 当たりの燃料使用量は換算係数を乗じてA重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

●上記温室における年間生産量（目標生産量）（※4）

	年間(加温期間)生産量①	A重油換算使用量②	(A重油換算係数)
目標生産量	t		

1 t 当りの燃料使用量	A 重油	ℓ	ℓ	① の数量
	灯油	ℓ	ℓ	① に 0.939 を乗じる
	L P ガス	Kg	ℓ	① に 1.299 を乗じる
	L N G	m ³	ℓ	① に 1.560 を乗じる
合 計			ℓ	

※取組目標 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

※1 t 当りの燃料使用量は換算係数を乗じて A 重油に換算。なお、それぞれの数値については小数点以下第 1 位を四捨五入する。

●経営における燃料コストの変動抑制量（目標抑制量）（※4）

※取組目標 1. (3) に○印を記載した事業参加者のみ記載。

ただし、支援対象者が一体的に取り組む場合は、記載不要。

3. 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	～	KL→ KL (○%)
		～	KL→ KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
単位生産量当たり燃料使用量	15%	～	KL→ KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

(注 1) 1 期計画、2 期計画における目標削減率 15% を達成した場合に削減率を○で囲む。

(注 2) 実績は A 重油・灯油は「KL」、L P ガスは「KG」、L N G は「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

4. 目標達成の取組手段（○印を記載した目標に対して記載）

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合



➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		省エネ設備導入計画		
		ヒートポンプ導入状況		その他の設備
現在	目標	導入済	導入予定	導入予定
		事業年度	事業年度	事業年度
L Kg m³	L Kg m³	電気 ガス	電気 ガス	
		台	台	台
		a	a	a
		(参考)		

(注) ヒートポンプ導入状況の欄は、電気・ガスのいずれかを○で囲み、既に導入済の場合は導入年度、台数及び設置している温室の面積を、今後導入を予定している場合は導入予定年度、台数及び設置予定の温室面積を記載。

なお、両方を使用している場合は、欄を追加して電気・ガスごとに別々に記載する。

(注) その他の設備の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注) 省エネ設備の定義については、本対策で平成 27 事業年度まで実施していた「施設園芸省エネ設備リース導入支援事業」で定義していた設備（循環扇、被覆資材 等）とする。

(注) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート及び省エネ設備導入以外の手段で燃料使用量の削減に取り組む場合は、（参考）欄に具体的な取組手段（例として、低温適応性品種への転換や燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入等）を記載する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合



➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
				ヒートポンプ導入状況		その他の設備
現在	目標	現在	目標	導入済	導入予定	導入予定
				事業年度	事業年度	事業年度
L Kg m³	L Kg m³	t	t	電気 ガス	電気 ガス	
				台	台	台
				a	a	a
				(参考)		

※該当しない場合、削除してください

(注) ヒートポンプ導入状況の欄は、電気・ガスのいずれかを○で囲み、既に導入済の場合は導入年度、台数及び設置して

いる温室の面積を、今後導入を予定している場合は導入予定年度、台数及び設置予定の温室面積を記載。

なお、両方を使用している場合は、欄を追加して電気・ガスごとに別々に記載する。

(注) その他の設備の欄は、省エネ設備・生産性向上設備（炭酸ガス発生装置、環境制御盤 等）を上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注) 生産性向上設備の導入以外の手段で生産量の向上に取り組む場合は、（参考）欄に具体的な取組手段（例として、多収性品種への転換や栽培技術の改善 等）を記載する

(注) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画のうち省エネ設備に係る記載については、3.（1）の（注）に準ずるものとする。

（3）民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料燃料コストの変動を抑制する目標に取り組む場合

☐

➤ 施設園芸※該当しない場合、削除してください（必須）

燃料使用量 （現在）	燃料コストの 変動抑制量 （目標）	変動抑制取組計画		
		事業年度	事業年度	事業年度
L Kg m	L Kg m	（参考）		

(注) 支援対象者が一体的に取り組む場合（例えば、支援対象者としてA重油備蓄タンクを整備している場合 等）は、燃料コストの変動抑制量（目標）及び変動抑制取組計画の記載は不要とする。

(注) 変動抑制取組計画の（参考）欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料コストの変動を抑制するのかが分かるよう記載する。

5. 施設園芸セーフティネット構築事業への加入

● 施設園芸セーフティネット構築事業:○事業年度（該当箇所に○印を記入）

☐

➤ 申請(更新)する

☐

➤ 申請(更新)しない

● 施設園芸セーフティネットの積立方式（いずれかを選択し○印を記入）

対象燃料	積立方式	積立単価①	選択
A重油	115%積立	13.3 円/ℓ	
	130%積立	26.7 円/ℓ	
	150%積立	44.5 円/ℓ	
	170%積立	62.2 円/ℓ	
灯油	115%積立	14.1 円/ℓ	

	130%積立	28.3 円/ℓ	
	150%積立	47.1 円/ℓ	
	170%積立	65.9 円/ℓ	
L P ガス	115%積立	17.3 円/kg	
	130%積立	34.7 円/kg	
	150%積立	57.8 円/kg	
	170%積立	80.9 円/kg	
L N G	115%積立	8.7 円/m ³	
	130%積立	17.5 円/m ³	
	150%積立	29.1 円/m ³	
	170%積立	40.7 円/m ³	

● 施設園芸セーフティネットの対象となる燃料購入予定数量(ℓ%)

6 事業年度 対象期間 (6 年 月 ~ 7 年 月分)	計②
A 重油	L
灯油	L
L P ガス	Kg
L N G	m ³

※施設園芸セーフティネットの対象となる燃料購入予定数量は、A重油の換算は行わずに記入する。

● 積立予定額 (積立単価①×燃料購入予定数量②×1/2) 100 円単位で切捨て

燃料種別	積立方式	積立単価	積立金額
A 重油			円
灯油			円
L P ガス			円

L N G			円
合計			円

- 積立金の分割納付について: 必須(該当箇所に○印を記入必須)

☐

➤ 分割納付する

☐

➤ 分割納付しない

<記入上の注意>

- (※1) 同一支援対象者に属する事業参加者の取組目標は統一すること。
省エネルギー推進計画(旧名称)を最初に策定してから、3年を経過していない支援対象者及び新規の支援対象者に属する事業参加者は、1.(1)を取組目標とすること。
- (※2) 過去の加温年度における燃料使用量の7中5平均値(過去7年間の燃料使用量のうち最大使用量1年分と最小使用量1年分を除いた5年の平均燃料使用量)とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な燃料使用量(品目別)が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。
なお、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省エネルギー等対策推進計画の現在使用量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、省エネルギー推進計画(旧名称)における現在使用量に0.85を乗じた使用量を省エネルギー等対策推進計画における現在使用量とすることができるものとする。
- (※3) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、全事業参加者が必須で実践し、10%の削減割合を現在使用量に乘じた量を削減見込量として、現在使用量から削減見込量を差し引いた量を目標量として設定することができるものとする。
ただし、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者が、引き続き、10a 当たり燃料使用量の削減を取組目標とした場合は、既に実践済みのため、現在使用量に10%の削減割合を見込むことは出来ないものとする。併せて、同取組目標において、事業参加者の削減率(実績値)が10%未満の場合は、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践を徹底し、省エネルギー等対策推進計画における目標値に未達分を反映させることとする。
なお、いずれの取組目標においても、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは必須の取組とし、施設園芸の省エネルギー化に務めるものとする。
- (※4) 3. 目標達成の取組手段」における省エネ設備導入計画、省エネ設備・生産性向上設備導入計画、変動抑制取組計画を踏まえて記載し、その算定方法が確認できる書類を添付すること。
- (※5) 過去の加温年度における生産量の7中5平均値とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な生産量が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。
- (※6) 積立金の分割納付の有無は事業参加者が選択する。納付は2回に分割し、第1回目の納付割合は全体額の2分の1以上(前年度繰越額を含む)とし、納付額及び納付期限については、積立契約が成立した際にあらためて支援対象者から通知する。

別紙様式第5号（第12条関係）【契約の更新の場合】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書（更新）

令和 年 月 日

千葉県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

千葉県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月28日付け千葉県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を更新して締結したいので申し込みます。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号

※積立契約完了通知の契約管理番号を記載

更新による積立契約の期間の終期：令和7年6月30日

【積立契約における留意事項】

- ・積立契約の期間は、令和6年7月1日（平成24事業年度からの契約の場合は平成25年2月1日、平成25事業年度以降からの契約の場合は当該年の5月1日（又は4月1日若しくは6月1日若しくは7月1日）を開始日とし、令和7年6月30日までの期間です（期間の終期が更新されます。）。
- ・補填金は、当該補填金交付日における燃料補填積立金残高の2倍を上限として支給されますが、政府の予算と千葉県農業再生協議会（以下「本協議会」といいます。）に造成された基金の残額に応じて減額されることがあります。
- ・積立金に利息はつきません。
- ・本協議会は、この申込書を受付け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知（更新）を送付します。

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱います。

別紙様式第5号（第12条関係）【新規契約の場合】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書

令和 年 月 日

千葉県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

千葉県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月28日付け千葉県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を締結したいので申し込みます。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

【積立契約における留意事項】

- ・ 積立契約の期間は、令和6年7月1日を開始日とし、令和7年6月30日までの期間です。
- ・ 補填金は、当該補填金交付日における燃料補填積立金残高の2倍を上限として支給されますが、政府の予算と千葉県農業再生協議会（以下「本協議会」といいます。）に造成された基金の残額に応じて減額されることがあります。
- ・ 積立金に利息はつきません。
- ・ 本協議会は、この申込書を受付け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知を送付します。

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・ 本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・ 本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱います。

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約の参加構成員について

〇〇組織における、施設園芸用価格差補填金積立契約の参加構成員は以下のとおりです。

- フリガナ
1 組織名

- ## 2 代表者

代表者の住所：

フリガナ

代表者の氏名：

- 3 参加構成員数 名

- #### 4 参加構成員

(注) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

該当する様式（更新又は新規）にのみ記入し、もう一方は削除する（**新たな期の場合も更新の様式**）

別紙様式第5号（第12条関係）【**契約の更新の場合**】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書（更新）

令和6年○月○日

千葉県農業再生協議会会長 殿

様式1、7号と揃える

（農業者組織）

○○市○○○○○—○○
○○○○○○○○組合
組合長 ○○ ○○

押印は不要

前年度・前期と同じ4桁の契約管理番号を記入

千葉県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月28日付け千葉県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を更新して締結したいので申し込みます。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号 ○○○○ ※積立契約完了通知の契約管理番号を記載

更新による積立契約の期間の終期：令和7年6月30日

記入済み（変更不要）

【積立契約における留意事項】

- ・積立契約の期間は、令和6年7月1日（平成24事業年度からの契約の場合は平成25年2月1日、平成25事業年度以降からの契約の場合は当該年の5月1日（又は4月1日若しくは6月1日若しくは7月1日）を開始日とし、令和7年6月30日までの期間です（期間の終期が更新されます。）。
- ・補填金は、当該補填金交付日における燃料補填積立金残高の2倍を上限として支給されますが、政府の予算と千葉県農業再生協議会（以下「本協議会」といいます。）に造成された基金の残額に応じて減額されることがあります。
- ・積立金に利息はつきません。
- ・本協議会は、この申込書を受け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知（更新）を送付します。

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱いします。

新規組合の場合に使用（更新の様式は削除する）

別紙様式第5号（第12条関係）【新規契約の場合】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書

令和6年○月○日

千葉県農業再生協議会会長 殿

様式1号と揃える

（農業者組織）

○○市○○○○○—○○
○○○○○○○○組合
組合長 ○○ ○○

押印は不要

千葉県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月28日付け千葉県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を締結したいので申し込みます。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

記入済み（変更不要）

【積立契約における留意事項】

- ・積立契約の期間は、令和6年7月1日を開始日とし、令和7年6月30日までの期間です。
- ・補填金は、当該補填金交付日における燃料補填積立金残高の2倍を上限として支給されますが、政府の予算と千葉県農業再生協議会（以下「本協議会」といいます。）に造成された基金の残額に応じて減額されることがあります。
- ・積立金に利息はつきません。
- ・本協議会は、この申込書を受付け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知を送付します。

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱います。

※管理シートを及び別紙様式7号を作成する場合は省略可能

(別紙様式第5号に添付) (別紙様式第7号の「別紙」による代用可能)
別紙

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約の参加構成員について

〇〇組織における、施設園芸用価格差補填金積立契約の参加構成員は以下のとおりです。

- フリガナ
1 組織名 ○○○○○○○○組合
- 2 代表者
代表者の住所: ○〇市○○○○○—○○
フリガナ マルマル マルマル
代表者の氏名: ○○ ○○
- 3 参加構成員数 ○〇名

4 参加構成員

番号	フリガナ 氏 名	住 所
		※管理シートのとおり

(注) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

R6事業年度 施設園芸セーフティネット構築事業管理シート

積立単価	A重油	灯油	L Pガス
115%	13.3	14.1	17.3
130%	26.7	28.3	34.7
150%	44.5	47.1	57.8
170%	62.2	65.9	80.9

		：水色セルは自動計算																						
協議会	地域	支援 対象者 番号	支援対象者名	代表者役職・氏名	郵便番号	住所	省エネルギー 等対策推進計 画期間	対象期間 開始月	対象期間 終了月	農家 番号	追加等 整理欄	氏名	市町村	住所	コース	燃料別	燃料購入 予定数量 (リットル,kg,m)	積立単価	R6積立金額 (円)	R5末残高 (円) ①	燃料補填金 積立必要額 (円)	分割納付 (○,×)	第1回納付 (円) ②	第1回 納付日
千葉県																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
																		#N/A	#N/A		#N/A	#N/A		
計		合計												0			0	#N/A	0	#N/A		#N/A		

↑ 支援対象構成員数（実数）

（記入の留意事項）

- ・農家個人ごとの整理番号で整理。
- ・セーフティネットで複数燃料を対象にする農家は2行にわたって記載。2行目はセーフティネットの当該燃料に係る必要事項のみの記入で可。
- ・「追加等整理欄」は、5 事業年度中に契約更新済みの支援対象者に、6 事業年度新規に追加する農家がある場合「追加」と記載。その他解約等の整理に活用。
- ・R 4又はR 5 事業年度から参加した農家で離農以外の理由で解約等を行った場合にあっては、温室面積、燃料使用量及び生産量欄は、解約前の計数をそのまま残しておくこと。
- ・離農又は何らかの理由により省エネルギー等対策推進計画から離脱した場合には、温室面積及び燃料使用量の現在欄の計数はそのまま残しておき、目標欄は「0」にすること。

！数式が崩れますので、行が足りない場合は間に挿入して追加してください

< 燃料購入予定数量 >			
	A重油	灯油	L Pガス
115%	0	0	0
130%	0	0	0
150%	0	0	0
170%	0	0	0
小計	0	0	0
合計	0		

< 積立金額 >			
	A重油	灯油	L Pガス
115%	0	0	0
130%	0	0	0
150%	0	0	0
170%	0	0	0
小計	0	0	0
合計	0		

：水色セルは自動計算

の整理番号で整理。

ットで複数燃料を対象にする農家は2行にわた

「欄」は、5事業年度中に契約更新済みの支援対

事業年度から参加した農家で離農以外の理由で

かの理由により省エネルギー等対策推進計画か

すること。

すので、行が足りない場合は間に挿入して追加

＜燃料使用量：現在値＞				
A 重油	灯油	L P ガス	L N G	合計
0	0	0	0	
0	0	0	0	#N/A

A重油換算

< 燃料使用量：目標 >				
A 重油	灯油	L P ガス	L N G	合計
0	0	0	0	
0	0	0	0	#N/A

A重油換算

L計算					
	現在使用量	目標使用量	削減量	削減率	達成見込
A重油+灯油	0	0	0	#DIV/0!	
L Pガス	0	0	0	#DIV/0!	
L N G	0	0	0	#DIV/0!	
合計	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	
10a当たり	0	0	0	#DIV/0!	

★様式1の第1の3の(1)転記用				
	現在使用量	目標使用量	削減量	削減率
A重油+灯油	0	0	0	
L P ガス	0	0	0	
L N G	0	0	0	
合計	#N/A	#N/A	#N/A	
10a当たり	0	0	0	

R6事業年度 施設園芸セーフティネット構築事業管理シート

・1団体につき1シート作成してください。

・行が足りない場合は挿入により追加してください。

・水色セル列については、行追加後、関数をコピー&ペーストしてください。

・最初の行は様式7に反映されるため、削除しないでください。

既存の構成員については、前年度の農家番号をそのままご使用ください。新規参加者は最後の行に追加し、追加等整理欄に「新規」と記入してください。

※複数燃料種の場合も、番号はすべてご記入ください

構成員の状況によって以下のとおり記入して下さい。

・「新規」…新規に加入した場合

・「休止」…燃料価格高騰対策事業には加入しているが、R6はセーフティ事業を活用しない。

・「削除」…離農・死亡等により燃料価格高騰対策事業の対象外（団体の現在・目標使用量の修正が必要）

様式2と一致させてください

：水色セルは自動計算

協議会	地域	支援対象者番号	支援対象者名	代表者役職・氏名	郵便番号	住所	省エネルギー等対策推進計画期間	対象期間開始月	対象期間終了月	農家番号	追加等整理欄	氏名	市町村	住所	コース	燃料別	燃料購入予定数量 (リットル,kg,m)	積立単価	R6積立金額 (円)	R5末残高 (円)①	燃料補填金積立必要額 (円)	分割納付 (○,×)	第1回納付 (円)②	第1回納付日
千葉県	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇組合	組合長 〇〇 〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇〇〇〇-〇〇	R6～8	R6.10	R7.4	1		〇〇 〇〇	〇〇市	〇〇市〇〇〇-〇〇	170%	A重油	15,000	62.2	466,500		466,500	×	466,500	
										2		：	：	：	170%	A重油	12,000	62.2	373,200		373,200	×	373,200	
										3					150%	A重油	15,000	44.5	333,700		333,700	○	167,000	
										4					150%	A重油	19,000	44.5	422,700		422,700	×	422,700	
										5					150%	A重油	15,000	44.5	333,700		333,700	×	333,700	
										6	休止	〇〇 〇〇	〇〇市		150%	A重油	12,000	44.5	267,000		267,000	×	267,000	
										7	削除	〇〇 〇〇	〇〇市		150%	A重油	35,000	44.5	778,700		778,700	○	390,000	
										8		：	：	：	150%	A重油	20,000	44.5	445,000		445,000	×	445,000	
										9		〇〇 〇〇	〇〇市	〇〇市〇〇〇-〇〇	150%	A重油	10,000	44.5	222,500		222,500	○	112,000	
										9					170%	灯油	1,000	65.9	32,900		32,900	○	17,000	
										9					150%	L P ガス	500	57.8	14,400		14,400	○	8,000	
										10					170%	A重油	10,000	62.2	311,000		311,000	×	311,000	
										11		：	：	：	150%	A重油	10,000	44.5	222,500		222,500	×	222,500	
										12					170%	A重油	20,000	62.2	622,000		622,000	×	622,000	
										13					150%	A重油	5,000	44.5	111,200		111,200	×	111,200	
										14					170%	A重油	12,000	62.2	373,200		373,200	×	373,200	
										15					150%	A重油	10,000	44.5	222,500		222,500	×	222,500	
										16	新規	〇〇 〇〇	〇〇市	〇〇市〇〇〇-〇〇	150%	A重油	25,000	44.5	556,200		556,200	×	556,200	
										16					150%	L P ガス	3,000	57.8	86,700		86,700	×	86,700	
										17	新規	：	：	：	170%	L P ガス	1,000	40.400	40,400		40,400	×	40,400	
計		合計											3			250,500		6,236,000	0	6,236,000		5,547,800		

↑ 支援対象構成員数（実数）

(記入の留意事項)

- ・農家個人ごとの整理番号で整理。
- ・セーフティネットでは複数燃料を対象にする農家は2行にわたって記載。2行目はセーフティネットの当該燃料に係る必要事項のみの記入で可。
- ・「追加等整理欄」は、5事業年度中に契約更新済みの支援対象者に、6事業年度新規に追加する農家がある場合「追加」と記載。その他解約等の整理に活用。
- ・R4又はR5事業年度から参加した農家で離農以外の理由で解約等を行った場合にあっては、温室面積、燃料使用量及び生産量欄は、解約前の計数をそのまま残しておくこと。
- ・離農又は何らかの理由により省エネルギー等対策推進計画から離脱した場合には、温室面積及び燃油使用量の現在欄の計数はそのまま残しておき、目標欄は「0」にすること。

! 数式が崩れますので、行が足りない場合は間に挿入して追加してください

<燃料購入予定数量>			
	A重油	灯油	L P ガス
115%	0	0	0
130%	0	0	0
150%	176,000	0	3,500
170%	69,000	1,000	1,000
小計	245,000	1,000	4,500
合計	250,500		

<積立金額>			
	A重油	灯油	L P ガス
115%	0	0	0
130%	0	0	0
150%	3,915,700	0	101,100
170%	2,145,900	32,900	40,400
小計	6,061,600	32,900	141,500
合計	6,236,000		

・1団体につき1シート作成して

・行が足りない場合は挿入により

・水色セル列については、行追加

・最初の行は様式7に反映される

L N G	
8.7	
17.5	
29.1	
40.7	

現在の温室面積が記載されていますが、目標時点までに変更する予定がある場合は、直接面積を記入してください

様式2の2.の燃料別温室加温面積と一致させてください

計算書等を参考に転記してください。

全ての品目を記入してください

様式2の4.の導の省エネ機器・施設記入してください

：水色セルは自動計算

地域	支援対象者番号	支援対象者名	第2回納付(円)③	第2回納付日	積立金納付額①+②+③	補助金所要見込額(円)	現在温室面積(a)	目標温室面積(a)	目標温室面積のうちのA重油分(a)	目標温室面積のうちの灯油分(a)	目標温室面積のうちのLPガス分(a)	目標温室面積のうちのL N G分(a)	現在燃料使用量(円+kg,㎡)	(現在)A重油換算値(円+kg)	目標燃料使用量(円+kg,㎡)	(目標)A重油換算値(円+kg)	類型	品目	現在生産量(kg)	目標生産量(kg)	電気ヒートポンプ導入済台数	電気ヒートポンプ導入済面積(a)	電気ヒートポンプ導入予定台数	電気ヒートポンプ導入予定年度	電気ヒートポンプ導入予定面積(a)	ガスヒートポンプ導入済台数	ガスヒートポンプ導入済面積(a)
〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇組合	0	—	466,500	466,500	55.00	55.00	30.00	20.00			16,000	16,000	13,000	13,000	野菜	トマト			5		40				
			0	—	373,200	373,200	40.00	40.00			40.00		12,000	12,000	10,000	10,000	野菜・花き	トマト、シクラメン									
			166,700	月 日	333,700	333,700	35.00	35.00	30.00		20.00		17,000	17,000	14,000	14,000	花き	ユリ					3	R7	30		
			0	—	422,700	422,700	30.00	30.00					19,000	19,000	15,000	15,000											
			0	—	333,700	333,700	30.00	30.00					17,000	17,000	14,000	14,000											
			0	—	267,000	267,000	30.00	30.00	:	:	:	:	12,000	12,000	10,000	10,000	:	:					:				
			388,700	月 日	778,700	778,700	60.00	60.00					35,000	35,000	30,000	30,000											
			0	—	445,000	445,000	35.00	35.00					20,000	20,000	17,000	17,000											
			110,500	月 日	222,500	222,500	55.00	55.00	50.00	20.00	10.00		10,000	10,000	8,000	8,000	野菜	トマト			1		10				
			15,900	月 日	32,900	32,900		0.00					2,000	1,878	1,500	1,409											
			6,400	月 日	14,400	14,400		0.00					1,000	1,299	500	650											
			0	—	311,000	311,000	30.00	30.00					10,000	10,000	9,000	9,000											
			0	—	222,500	222,500	25.00	25.00					15,000	15,000	12,000	12,000	:	:									
			0	—	622,000	622,000	40.00	40.00					19,000	19,000	16,000	16,000											
			0	—	111,200	111,200	10.00	10.00	:	:	:	:	5,000	5,000	4,000	4,000											
			0	—	373,200	373,200	20.00	20.00					12,000	12,000	10,000	10,000											
			0	—	222,500	222,500	35.00	35.00					10,000	10,000	8,000	8,000											
			0	—	556,200	556,200	15.00	15.00					25,000	25,000	2,000	2,000											
			0	—	86,700	86,700		0.00					3,000	3,897	2,500	3,248											
			0	—	40,400	40,400	20.00	20.00					1,000	1,299	500	650											
		合計	688,200		6,236,000	6,236,000	565	565	110	40	70	0		262,373		197,957			0	0	6	50	3		30	0	0

〔項〕の整理番号で整理。
ットで複数燃料を対象にする農家は2行にわた
欄〕は、5事業年度中に契約更新済みの支援対
事業年度から参加した農家で離農以外の理由で
かの理由により省エネルギー等対策推進計画か
にすること。
:すので、行が足りない場合は間に挿入して追加

L N G	
0	
0	
0	
0	
0	
0	

<燃料使用量：現在値>

A重油	灯油	L Pガス	L N G	合計
254,000	2,000	5,000	0	
254,000	1,878	6,495	0	262,373

A重油換算

<燃料使用量：目標>

A重油	灯油	L Pガス	L N G	合計
192,000	1,500	3,500	0	
192,000	1,409	4,547	0	197,957

A重油換算

L計算

	現在使用量	目標使用量	削減量	削減率	達成見込
A重油+灯油	255,878	193,409	62,470	24.4	
L Pガス	5,000	3,500	1,500	30.0	
L N G	0	0	0	#DIV/0!	
合計	262,373	197,957	64,416	24.6	
10a当たり	4,644	3,504	1,140	24.6	達成

★様式1の第1の3の(1)転記用

	現在使用量	目標使用量	削減量	削減率
A重油+灯油	256	193	62	24
L Pガス	5	4	2	30
L N G	0	0	0	
合計	262	198	64	25
10a当たり	5	4	1	25

四捨五入前の達成率が14.5～14.9%の場合は、四捨五入して15%となりますが15%の達成とはみなされません。15%を超える達成となるよう目標値を設定してください。

黄色セルの数字を様式1の第1の3の(1)の表に転記してください

様式2の1.の(2)の取組を選択しない場合は記入不要です

複数燃料種を申請する構成員については、最初の行のみを記入し、2列目以降は空欄としてください

- R6. 7～9月～に使用予定の燃料を記入してください

5飾、印旛、
i、山武、長
安房、君津
から選択

既存の参加団体は前年度の
4桁の契約管理番号を記入
してください。
新規の団体は空欄としてく
ださい。

「項」
の整理番号で整理。
ットで複数燃料を対象にする農家は2行にわた
「欄」は、5事業年度中に契約更新済みの支援対
事業年度から参加した農家で離農以外の理由で
かの理由により省エネルギー等対策推進計画か
にすること。
すので、行が足りない場合は間に挿入して追加

別紙様式第7号（第14条第1項関係）

施設園芸用燃料購入数量等設定申込書（令和6事業年度）

令和6年 月 日

千葉県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

令和6事業年度の施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入数量等の設定を以下のとおり申し込みます。

なお、参加構成員ごとの燃料購入数量等の内訳は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号

※契約済みの場合は、積立契約完了通知の契約管理番号を記載

1. 対象期間 令和6年 月 1日から令和7年 月 日まで

2. 対象数量（施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入予定数量）

選択肢 (積立方式)	油種等	単価	燃料購入予定数量
燃料価格の 115%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	13.3円/リットル	ℓ
	灯油	14.1円/リットル	ℓ
	L P ガス	17.3円/kg	ℓ
	L N G	8.70円/m ³	ℓ
燃料価格の 130%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	26.7円/リットル	ℓ
	灯油	28.3円/リットル	ℓ
	L P ガス	34.7円/kg	ℓ
	L N G	17.5円/m ³	ℓ
燃料価格の 150%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	44.5円/リットル	ℓ
	灯油	47.1円/リットル	ℓ
	L P ガス	57.8円/kg	ℓ
	L N G	29.1円/m ³	ℓ
燃料価格の 170%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	62.2円/リットル	ℓ
	灯油	65.9円/リットル	ℓ
	L P ガス	80.9円/kg	ℓ
	L N G	40.7円/m ³	ℓ

別紙様式第7号（第14条第1項関係）

施設園芸用燃料購入数量等設定申込書（令和6事業年度）

令和6年〇月〇日

千葉県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

〇〇市〇〇〇〇〇—〇〇

〇〇〇〇〇〇〇組合

組合長 〇〇 〇〇

令和6事業年度の施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入数量等の設定を以下のとおり申し込みます。

なお、参加構成員ごとの燃料購入数量等の内訳は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号

〇〇〇〇

※契約済みの場合は、積立契約完了通知の契約管理番号を記載

1. 対象期間

令和6年10月1日から令和7年4月30日まで

2. 対象数量（施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入予定数量）

選択肢 (積立方式)	油種等	単価	燃料購入予定数量
燃料価格の 115%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	13.3円/リットル	0
	灯油	14.1円/リットル	0
	L P ガス	17.3円/kg	0
	L N G	8.70円/m ³	0
燃料価格の 130%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	26.7円/リットル	0
	灯油	28.3円/リットル	0
	L P ガス	34.7円/kg	0
	L N G	17.5円/m ³	0
燃料価格の 150%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	44.5円/リットル	176,0000
	灯油	47.1円/リットル	0
	L P ガス	57.8円/kg	3,5000
	L N G	29.1円/m ³	0
燃料価格の 170%相当まで の高騰に備え積 み立て	A重油	62.2円/リットル	69,0000
	灯油	65.9円/リットル	1,0000
	L P ガス	80.9円/kg	1,0000
	L N G	40.7円/m ³	0

3. 燃料補填積立の金額

選択された単価

A重油	(13.3円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
灯油	(14.1円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
A重油	(26.7円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
灯油	(28.3円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
A重油	(44.5円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
灯油	(47.1円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
A重油	(62.2円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
灯油	(65.9円)	×数量設定申込書の数量 (	0	リットル)	×1/2=	0	円
L P ガス	(17.3円)	×数量設定申込書の数量 (	0	kg)	×1/2=	0	円
L N G	(8.70円)	×数量設定申込書の数量 (	0	m ³)	×1/2=	0	円
L P ガス	(34.7円)	×数量設定申込書の数量 (	0	kg)	×1/2=	0	円
L N G	(17.5円)	×数量設定申込書の数量 (	0	m ³)	×1/2=	0	円
L P ガス	(57.8円)	×数量設定申込書の数量 (	0	kg)	×1/2=	0	円
L N G	(29.1円)	×数量設定申込書の数量 (	0	m ³)	×1/2=	0	円
L P ガス	(80.9円)	×数量設定申込書の数量 (	0	kg)	×1/2=	0	円
L N G	(40.7円)	×数量設定申込書の数量 (	0	m ³)	×1/2=	0	円
計							0 円

＊積立の金額は、参加構成員ごとに計算結果を切り捨てにより100円単位としたものです。

【燃料購入数量等設定における留意事項】

- ・燃料油購入数量の設定に関する証拠書類の提出を求めた場合は、必ず提出してください。
提出がない場合には、燃料購入数量が設定できない場合があります。
- ・当協議会から指示があった場合には、指定月の燃料の購入数量を領収書、納品書等の写しを添付して速やかに報告してください。
- ・燃料購入数量等が設定されましたらお知らせしますので、燃料補填積立金必要額を納入してください。

(別紙様式第7号に添付)
別紙

施設園芸用燃料購入数量等設定の内訳（令和6事業年度）

の燃料購入予定数量等設定の内訳は以下のとおりです。

1 参加構成員数 0 名

2 参加構成員ごとの内訳

番号	氏 名	住 所	選択肢 ・115% ・130% ・150% ・170%	油種等 A重油 灯油 L P ガス L N G	対象燃料購入数量 6 事業年度 対象期間 (～)	燃料補填積立金額 ※（円） 6 事業年度 対象期間 (～)	分割納付	備考
別添管理シートのとおり								
合 計			115%	A重油 (13.3円/ℓ)	0	0		
				灯油 (14.1円/ℓ)	0	0		
				L P ガス (17.3円/kg)	0	0		
				L N G (8.70円/㎡)	0	0		
			130%	A重油 (26.7円/ℓ)	0	0		
				灯油 (28.3円/ℓ)	0	0		
				L P ガス (34.7円/kg)	0	0		
				L N G (17.5円/㎡)	0	0		
			150%	A重油 (44.5円/ℓ)	0	0		
				灯油 (47.1円/ℓ)	0	0		
				L P ガス (57.8円/kg)	0	0		
				L N G (29.1円/㎡)	0	0		
			170%	A重油 (62.2円/ℓ)	0	0		
				灯油 (65.9円/ℓ)	0	0		
				L P ガス (80.9円/kg)	0	0		
				L N G (40.7円/㎡)	0	0		

(注) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。
(注) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出する（農家積立分）。切り捨てにより100円単位で記載する。
(注) 分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載する。

別紙様式第 7 号（第 1 4 条第 1 項関係）

施設園芸用燃料購入数量等設定申込書（令和 6 事業年度）

令和 年 月 日

千葉県農業再生協議会会長 殿

(農業者組織)
住所
名称及び代表者の氏名

令和 6 事業年度の施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入数量等の設定を以下のとおり
申し込みます。
なお、参加構成員ごとの燃料購入数量等の内訳は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号 _____
※契約済みの場合は、積立契約完了通知の契約管理番号を記載

1. 対象期間 令和 6 年〇月1日から令和 7 年〇月30(又は28若しくは31日)まで

2. 対象数量（施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入予定数量）

選択肢（積立方式）	油種等	単価	燃料購入予定数量
燃料価格の 115%相当までの高騰に 備え積み立て	A重油	13.3 円/リットル	
	灯油	14.1 円/リットル	
	L P ガス	17.3 円/kg	
	L N G	8.70 円/m ³	
燃料価格の 130%相当までの高騰に 備え積み立て	A重油	26.7 円/リットル	
	灯油	28.3 円/リットル	
	L P ガス	34.7 円/kg	
	L N G	17.5 円/m ³	
燃料価格の 150%相当までの高騰に 備え積み立て	A重油	44.5 円/リットル	
	灯油	47.1 円/リットル	
	L P ガス	57.8 円/kg	
	L N G	29.1 円/m ³	
燃料価格の 170%相当までの高騰に 備え積み立て	A重油	62.2 円/リットル	
	灯油	65.9 円/リットル	
	L P ガス	80.9 円/kg	
	L N G	40.7 円/m ³	

3. 燃料補填積立の金額

選択された単価

A重油	(13.3円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
灯油	(14.1円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
A重油	(26.7円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
灯油	(28.3円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
A重油	(44.5円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
灯油	(47.1円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
A重油	(62.2円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
灯油	(65.9円)	×数量設定申込書の数量 (	リットル)	×1/2=	円
L Pガス	(17.3円)	×数量設定申込書の数量 (	kg)	×1/2=	円
L N G	(8.70円)	×数量設定申込書の数量 (	m ³)	×1/2=	円
L Pガス	(34.7円)	×数量設定申込書の数量 (	kg)	×1/2=	円
L N G	(17.5円)	×数量設定申込書の数量 (	m ³)	×1/2=	円
L Pガス	(57.8円)	×数量設定申込書の数量 (	kg)	×1/2=	円
L N G	(29.1円)	×数量設定申込書の数量 (	m ³)	×1/2=	円
L Pガス	(80.9円)	×数量設定申込書の数量 (	kg)	×1/2=	円
L N G	(40.7円)	×数量設定申込書の数量 (	m ³)	×1/2=	円
計					円

*積立の金額は、参加構成員ごとに計算結果を切り捨てにより 100 円単位としたものです。

【燃料購入数量等設定における留意事項】

- ・燃料油購入数量の設定に関する証拠書類の提出を求めた場合は、必ず提出してください。提出がない場合には、燃料購入数量が設定できない場合があります。
- ・当協議会から指示があった場合には、指定月の燃料の購入数量を領収書、納品書等の写しを添付して速やかに報告してください。
- ・燃料購入数量等が設定されましたらお知らせしますので、燃料補填積立金必要額を納入してください。

別紙

施設園芸用燃料購入数量等設定の内訳（令和〇事業年度）

〇〇組織の燃料購入予定数量等設定の内訳は以下のとおりです。

1 参加構成員数 名

2 参加構成員ごとの内訳

番 号	氏 名	住 所	選択肢 ・115% ・130% ・150% ・170%	油種等 ・A重油 ・灯油 L P ガス L N G	対象燃料購入数量	燃料補填積立金額※ (円)	分割納付	備考
					○事業年度 対象期間(年 月～ 年 月分)	○事業年度 対象期間(年 月～ 年 月分)		
別添管理シートのとおり								
合 計			115%	A重油 (13.3 円/リットル)				
				灯油 (14.1 円/リットル)				
				L P ガス (17.3 円/kg)				
				L N G (8.70 円/㎡)				
			130%	A重油 (26.7 円/リットル)				
				灯油 (28.3 円/リットル)				
				L P ガス (34.7 円/kg)				
				L N G (17.5 円/㎡)				
			150%	A重油 (44.5 円/リットル)				
				灯油 (47.1 円/リットル)				
				L P ガス				

		(57.8 円/kg)				
		L N G (29.1 円/m ³)				
	170%	A重油 (62.2 円/リットル)				
		灯油 (65.9 円/リットル)				
		L P ガス (80.9 円/kg)				
		L N G (40.7 円/m ³)				

(注) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

(注) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出する（農家積立分）。切り捨てにより 100 円単位で記載する。

(注) 分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載する。